安全データシート

作成日　　2010年 3月19日
改訂日　　2014年 2月24日

1．製品及び会社情報

製品の名称　　レジアンダー粉体

会社名	アサヒボンド工業株式会社
住所	東京都板橋区大谷口北町３－７
担当部門	営業部
電話番号	03-3972-4929
ＦＡＸ番号	03-3972-4583
緊急連絡電話番号	営業部　03-3972-4929
推奨用途及び使用上の制限：	モルタルやコンクリートの下地調整に限る。
整理番号　10713	

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類対象外
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	分類できない
	発がん性	区分1
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
	吸引性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性・急性	区分外
	水生環境有害性・長期	区分外

＊　上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語　　危険

危険有害性情報
発がんのおそれ
呼吸器の障害
長期または反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害

注意書き
【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】
気分が悪いときは、医師の診断／手当を受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3．組成、成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物
化学品又は一般名　　ポルトランドセメント

危険有害成分

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS番号	官報公示整理番号
酸化カルシウム	0.6～0.9%	1305-78-8	(1)-189

シリカ	2.4～4.1%	14808-60-7	(1)-548

4．応急措置

吸入した場合　被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合　水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　口をすすぐこと。直ちに医師の手当、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状　吸入　：　咳

5. 火災時の措置

消火剤 ： 不燃物質であるため必要としない。

6. 漏出時の措置

漏出時には、できるだけ粉体の状態で回収する。

人体に対する注意事項　直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。回収作業には、手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項　粉塵が飛散しないようにする。
濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

回収、中和　漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し廃棄まで容器で保管する。 やむをえず、 床面等に残ったものは水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。
回収物や回収した洗浄水は、13. 廃棄上の注意に従い、廃棄または排水する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。

局所排気・全体換気:　「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

取扱者の暴露防止　目、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具(手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等)を着用する。換気に注意する。

安全取扱い注意事項:　使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

接触回避:　「10.安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策:　湿気の少ない室内に保存する。

保管条件

適切な保管条件　乾燥した場所に保管する。施錠して保管すること。

混触禁止物質との分離　「10.安定性及び反応性」を参照。水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。

推奨する安全な容器包装材料　防湿性の容器

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策　室内で取扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。
多量に取扱う場合は集塵機を設置する。

管理濃度(労働安全衛生法・作業環境評価基準)　3.0 mg/m³

許容濃度

日本産業衛生学会 (2006年)

吸入性結晶質シリカ		0.03mg/m³(TWA)
第2種粉塵	吸入性粉塵	1mg/m³(TWA)
	総粉塵	4mg/m³(TWA)

ACGIH(2006年)

結晶質シリカ(吸入性)		0.025mg/m³(TWA)
粉塵	吸入性粉塵	3mg/m³(TWA)
	総粉塵	10 mg/m³(TWA)

保護具

呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護メガネ
皮膚及び身体の保護	長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観	灰白色の固体粉末
臭い	無臭
pH	水と接触すると12~13
融点	約1350℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	検出できない

爆発範囲	爆発性なし
密度	2.9~3.3 g/㎤(23/23℃)
溶解度	水に難溶

10．安定性及び反応性

水と反応して安定固化する。

特定条件下で生じる危険な反応	該当しない。
危険有害な分解生成物	該当しない。
安定性	通常の取扱い条件下では安定であるが、水分との接触では反応して固化する。
反応性	水や酸と反応する。

11．有害性情報

急性毒性　経口：区分外

以下の区分の急性毒性(経口)の物質を含む。

区分外　酸化カルシウム

マウス LD_{50} 3059mg/kg

皮膚腐食性/刺激性：区分外

以下の区分の皮膚腐食性/刺激性の物質を含む。

区分1　酸化カルシウム

濃度が0.9%と1%未満なので区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：区分外

以下の区分の眼に対する重篤な損傷・刺激性の物質を含む。

区分1　酸化カルシウム

濃度が0.9%と1%未満なので区分外とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：呼吸器感作性:データなし

皮膚感作性:　区分外

以下の区分の皮膚感作性の物質を含む。

区分外 酸化カルシウム

濃度が0.9%と1%未満なので区分外とした。

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：発がんのおそれ(区分1)

組成中の硅砂成分に以下の区分の発がん性の物質を含む。

区分1 シリカ

生殖毒性：データなし

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)：呼吸器系の障害(区分1(呼吸器系))

以下の区分の特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)の物質を含む。

区分1(呼吸器系) 酸化カルシウム

区分2(全身毒性、消化器) 酸化カルシウム

区分1(呼吸器系)　シリカ[8),9),11)]

酸化カルシウムの濃度が0.9%と1%未満なので酸化カルシウムの全身毒性、消化器に関しては区分外とした。

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)：長期または反復曝露による呼吸器系、腎臓の障害(区分1(呼吸器系、腎臓))

以下の区分の特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)の物質を含む。

区分1(呼吸器系)　酸化カルシウム[2),5)]

区分1(呼吸器系、腎臓)　シリカ

吸引性呼吸器有害性：区分外

以下の区分の吸引呼吸器有害性の物質を含む。

区分1　酸化カルシウム

濃度が0.9%と1%未満なので区分外とした。

12．環境影響情報

水性環境急性有害性：区分外

以下の区分の水性環境急性有害性の物質を含む。

区分外　酸化カルシウム

魚類 コイ　LC_{50}(96時間) 1070mg/L

水溶解度　1200mg/L

水性環境長期有害性：区分外

以下の区分の水性環境長期有害性の物質を含む。

区分外　酸化カルシウム

難水溶性でなく、急性毒性が低いことから、区分外とした。

オゾン層への有害性：本製品はモントリオール議定書の付属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13．廃棄上の注意

残余廃棄物：水を混和して固定後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

汚染容器及び包装：容器は、産業廃棄物として処分する。

14．輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報　　該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件　　粉塵のたたない方法で輸送する。破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。・湿気、水漏れに注意する。

15. 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
労働安全衛生法(粉塵障害防止規制)
労働安全衛生法第57条の2第1項通知対象物　　シリカ　、酸化カルシウム
化学物質管理促進法　　該当しない
毒物及び劇物取締法　　該当しない
じん肺法　　第2条施行規則第2条別表粉じん作業

16．その他の情報

JAIA-005402-F☆☆☆☆
JAIA-400359-4VOC基準適合

参考文献
1)製品安全データシートの作成指針　　日本化学工業協会
2)GHS分類結果データベース　　独立行政法人製品評価技術基盤機構
3)日化協「緊急時応急措置指針

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。